

する一灌木ありて、頗る旅行者に便を與ふ。道路は沙礫なるも緩斜にして騎行容易なり。

明れは二十七日、前半曇り後半晴る、気温は午前二十四度、午後は五十度に昇れり。午前九時發程、昨日と同じ狀況を以て、約十一里、午後四時エゲルサルテに到着す。

沿道の山嶽は、概ね綠泥岩、石英岩より成る。是日鷲及黃羊を認め、又山中の特産なる鴉を見たり。其形我國のものに倍し、性頗る獍猛、其嘴甚だ鋭く、家猫の怒叫する如き聲を發し、澁濁なる鳴音は聞く者をして憎惡の念を起さしむ。若し旅行者の一團、其の人少なきときは、或は頭上高く飛揚し、或は馱馬の背に下り、時としては驢馬の眼を狙ひ、一啄忽ら盲せしめ、遂に之を殺して其肉を食ひ、常に旅人の死屍及斃馬の肉を餌と爲すと云ふ。

二十八日、気温午前は二十五度、午後は五十一度に達せり。午前九時五分發、午後四時三十分行程十三里、カプルンに到る。沿道の狀況は昨日と同じきも、溪水次第に減少すると共に、空氣益々稀薄と爲りて、水は沸けども粥煮へず。宜なる哉地は既に海拔一萬尺を超ゆること數千尺なり。前途は愈々至難に向ひて益々慘澹の

エゲルサルテ

驢馬の眼を狙ふ

カプルン

水沸けども粥煮へず